

デジタル技術で暮らしを
もっと自由に、もっと快適に



わたしの暮らしの

DX

DX という言葉を目にしたたり、耳にしたたりすることはありますか？ DX（デジタルトランスフォーメーション）は、デジタル技術で生活や社会を根本から変革することです。

私たちの身近な DX は、難しいものではありません。市内の具体的な取り組みをお伝えします。

企画政策課 TEL43-9138 FAX22-5904



DX ってなに？

例えば、スマートフォンを使って、買い物ができたり、映画を観たり、世界中の人と議論したり。このように、デジタル技術で暮らしを根本から変えることを DX と言います。



暮らしがどう変わるの？

「もっとこうなったらいいのに」という声をデジタル技術で実現でき、私たちの暮らしが一段と便利になります。次のページから見ていきましょう。



DXでできること

買い物に行きたいけど、移動手段がなくて困ったなあ…

移動手段にお困りですか？

えっ、そうなの？

企画政策課
金子主事

AI(人工知能)を使った予約型の
新しい公共交通
が始まります

予約は電話やアプリの他に、市公式LINEからもできるんです

予約は簡単です！

乗降場所、人数、時間などを入力します

予約画面イメージ

乗降ポイント間を乗り継ぎなしで送迎してもらえてとても便利ね！

予約時間にワゴン車が迎えに来ます

乗降ポイントは、公共施設やスーパーなど、約400カ所！

11月下旬
運行開始

AI新交通 あいくる

市中心部を走る乗り合い型の公共交通です。決められた運行ルートはなく、AI(人工知能)が予約に応じてその都度、最適なルートを構築します。従来の公共交通に比べて、効率的な移動が期待できます。郊外地域は、既存の路線バスや鉄道と結んで移動します。

どう使う？

- ①電話やスマートフォンアプリなどで、あらかじめ予約します。
- ②予約時間の少し前に乗降ポイントへ。
- ③予約時間に、ワゴン車が迎えに来ます。
- ④降車時に運賃を支払います。

運行時間 ▶ 月～金曜の9:00～15:30
祝日、年末年始などを除く

どう使う？

わたしの

どう変わる？

暮らしのDX

わざわざ市役所に行かなくてもできる手続きが、次々と始まっています。
使えそうな事から暮らしに取り入れてみませんか？

オンライン申請

転出届、子育て関係の申請、証明書の交付請求などが、市役所へ行かずにインターネットで手続きできます。本人確認が必要な手続きは、マイナンバーカードが必要です。

どう変わる？

- 24 時間いつでも、自宅でも外出先でも、手続きができる
- イベントの申し込みなど、手続きは今後拡充される予定



いつでも どこでも スマホから



どう使う？



スマートフォンやパソコンなどで、市のオンライン申請ページから案内に従って手続きしてください。手数料などの決済は、クレジットカードが使用できます。本人確認が必要な一部の手続きは、マイナンバーカードが必要です。

LINEでの情報発信

柏崎市 LINE 公式アカウントで、市からのさまざまな情報をお知らせしています。防犯、子育て、資源物・ごみの収集日など、欲しい情報を選んで受信できます。

どう変わる？

- 防災行政無線の情報がすぐに文字で届く
- 欲しい情報を自動で受け取る

どう使う？



スマートフォンに LINE をインストールし、柏崎市公式アカウントを「友だち追加」してください。その後、LINE の受信設定を行うと、必要な情報を選んで受け取れます。

コンビニ交付

マイナンバーカードがあれば、全国の取り扱い可能なコンビニエンスストアで、市が発行する証明書の一部を取得できます。料金は市役所の窓口より安いです。

どう変わる？

- 市役所が開いていない時間でも、証明書を取得できる

どう使う？



コンビニエンスストアのマルチコピー機を操作して、その場で証明書を取得できます。

利用時間は 6:30 ~ 23:00

除雪作業の効率化

除雪車に GPS 稼働記録装置を設置。除雪の進捗状況や除雪車の走行場所を、職員がリアルタイムで把握できるようになりました。得たデータを基に、効率的な除雪作業を行っています。

どう変わる？

- 連続異常降雪などの緊急時に、効率良く除雪車が向かってくれる
- 除雪状況を問い合わせた時に、的確に回答がもらえる



▲まちナビ柏崎の画面

どう使う？

市が除雪を行っている路線（車道除雪路線、緊急確保路線、消雪パイプ、歩道除雪）を、市ホームページ「まちナビ柏崎」で公開しています。パソコンやスマートフォンなどから、いつでも確認することができます。



子育て応援券の電子化

0～3歳の子どもがいる世帯に発行している子育て応援券（かしわ★ざ★キッズ！スターチケット）を、スマートフォンのアプリで利用できます。来年1月利用開始予定

どう変わる？

- チケットの紛失や、忘れることを防げる
- 支払いがスムーズになる

どう使う？

お店に掲示してある二次元コードを、スマートフォンのアプリで読み取り、利用金額を入力します。お店の人が金額を確認後に決済ボタンを押すと、チケットの支払いが完了します。



オンライン相談

自宅にいながインターネット上で相談員に相談することができます。顔を見ながら相談できるので安心です。助産師への子育て相談や、柏崎市への移住相談を行っています。

どう変わる？

- 市役所に行かなくても、顔を見ながら相談できる

助産師相談

移住相談

どう使う？



申し込みフォームなどから予約し、スマートフォンやパソコンを使って相談できます。詳細は、市ホームページをご覧ください。



TOPIC

知っていますか？ マイナポータル

マイナンバーカードを使って、各種サービスを受けられる国のウェブサイトです。右のようなことができます。



- 公金受取口座の登録や変更
- 最新の健康保険証情報の確認
- 子育てや介護の手続き
- 自身の医療・税・年金情報の確認
- パスポートの取得、更新

産業のDX

市内企業でも、DXの取り組みが進められています。取り組み内容や、DXで実現したことなどを教えてもらいました。

シモダ産業(株)

ツールの導入で作業時間の短縮に成功



コミュニケーションツール（^{スラック}slack）などを導入。これまでではファクスなどで届いた注文書をコピーし、関係部署に紙で配布したり、電話で情報共有したりしていたが、ツールの導入により会社支給のスマートフォンで注文内容などを即時に共有できるようになった。紙の配布や電話でのやり取りに掛かっていた時間が減り、月8時間程の作業時間の短縮が実現した。

担当の土屋さんにお話を伺いました



のりよし
土屋 徳芳さん

ー DXに取り組むことになったきっかけは？

ー 一番は人口減少（人手不足）に対応するためです。「業務の省人化をすすめ属人化をなくす」をテーマに、人が減っても対応できる体制づくりを進めています。

ー 企業内で変化やメリットを感じましたか？

簡単に扱うことのできるツールから始めたので、導入当初は抵抗感を持っていた社員からも「作業が楽になった」と効果を感じてもらえるようになりました。今では、現場からも「DXでこういうことができないか」という声が上がってきています。メリットを社員みんなが実感できたことで、前向きにDXの取り組みを続けられています。

(株)ユニテック

DX 個別相談で市内企業を支援



柏崎 IT・ソフトウェア産業協会（KSK）の事務局を担い、市内のIT活用を推進。IT技術向上だけでなく、市内企業の業務の課題や悩みなどに応じて、適切なIT技術を紹介・提案しサポートしている。

柏崎市DX推進ラボとも連携し、DX個別相談、企業向けセミナー、市内学生向けのIT部活などの事業を行っている。

担当の丸山さんにお話を伺いました



たけはる
丸山 武晴さん

ー DX 個別相談について教えてください。

市内企業向けに相談窓口を設置し、相談があった企業に専門員を派遣しています。「何から始めればいいのか分からない」という相談が一番多いです。丁寧に聞き取りを行い、職種や作業内容、悩みに応じてIT技術などの事例を紹介・提案しています（提案までは無料）。

ー DXに興味がある企業へメッセージをください。

今は業務が回っていて困ってなくても、将来的には確実に働き手が減ってしまいます。今残業して行っている業務を見直すなど、少しずつDX化を始めませんか。ご相談お待ちしております。



DX Acceleration Local Lab 柏崎市 DX 推進ラボ

市内企業の競争力強化や人手不足・技術継承などの課題を克服するため、関係者と連携し産業の DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する団体。企業向けの個別相談事業や設備導入支援、DX 人材の育成事業などを行っています。



一柏崎での情報化の取り組みの特色を教えてください

私は平成元(1989)年に柏崎に U ターンしました。当時商工会議所で開かれていた講演会で「これからは産業の情報化・情報の産業化・人材育成に取り組むべきだ」という話がありました。U ターン前は情報産業で働いていたこともあり、情報化に対してこれほどまでに意識が進んでいることにとっても驚きました。情報化を推進しようとする意識は、今の柏崎につながっていると思います。

一企業が DX に取り組むメリットは何ですか？

DX=デジタルトランスフォーメーションはその名の通り、変革することが目標です。単純作業を機械化するなど、今の仕組みを変革することで省人化や効率化が進み、企業の競争力強化につながります。

デジタルの活用で、暮らしをより便利に、より過ごしやすい

全国的に人口減少や少子高齢化が加速する中で、民間も行政も、働き手が急激に不足することが予想されています。また、高齢化が進んだ社会では、サービスの利用者に来てもらうのではなく、サービスを提供する側が利用者を訪ねるなど、もっと便利で細やかなサービスが必要です。

DX によって暮らしや産業を変革することで、こうした課題を解決し、誰もが幸せになれる社

会を目指していきます。

デジタルと聞くと「操作が難しい」「自分にはあまり関係ない」と思うかもしれませんが、一人一人の暮らしや社会をもっと良くするために、一歩踏み出してデジタルを活用してみませんか。より便利で過ごしやすいと感じてもらうために、私たち市職員はいつでも手助けしたいと思っています。暮らしに上手にデジタルを取り入れ、一緒に DX を進めていきましょう。

Interview



関矢 ^{ひろあき} 浩章さん

柏崎商工会議所 元副会頭
柏崎市 DX 推進ラボ 元会長

DX で増える、クリエイティブな時間

余った時間は「創造する・人間関係を整える・モチベーションを高める」など人間にしかできないクリエイティブなことに使えるようになります。

一 DX に取り組んでみたい企業は、何から始めるのがいいですか？

まずは「自分（自社）がどうしたいか・どこを効率化やコスト削減したいか」を明確にしましょう。「こうしたい」が明確になったら、ぜひ相談窓口にご相談ください。IT の知識を持った専門員が、できることを提案してくれます。自社のオリジナルのシステムを開発するなど大がかりなことではなく、既存のソフトを活用できるケースもあります。それを紹介してもらうことは、DX の大きな一歩です。



お気軽に!

個別相談